



ご挨拶

院長 松本 修一



新年明けましておめでとうございます。

2023年は新型コロナウイルス感染症との共存を目指し様々な制限が緩和された1年でありました。院内では短時間ではあるものの入院患者さまの面会を再開しました。面会が再開されると病棟内の活気が戻ってきたように感じます。入院患者さまにだけでなくスタッフにも活気も出たように感じます。うわじま牛鬼祭りや秋祭りでは前年よりも大きな盛り上がりを見せました。街では飲食店など賑わいを取り戻しつつあるのではないのでしょうか。

2023年当院は医療機能評価機構の病院機能評価を受審しました。医療機能評価機構が策定している現在の医療機関に求められている基準に到達しているかチェックしてもらいました。最終結果の報告はこれから受けませんが、改善すべき点を挙げていただいていますのでこれを実行し、安全で安心して利用していただける病院を目指してゆきます。

当院は2024年4月に20周年を迎えます。宇和島圏域の高齢化率は全国平均よりも高く、現在の宇和島の状況は数年後の全国のものであると思われま。当院では急病の治療をすることだけでなく、十分なりハビリテーションを提供することで病前の状態に少しでも近づき退院後の生活を送ることができるようにお手伝いしてゆきます。さらに宇和島徳洲会病院が地域のなかで果たすべき役割を常に意識し、見極めながら皆様に安心して利用していただける病院を目指して職員一同で一層精進してゆきたいとおもいます。

みなさまひとりひとりの今年1年のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

看護部長 梶原 優子



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで当院は今年20周年を迎えます。

開院からこれまで、職員の努力だけでは乗り越えられないでき事が本当に沢山ありました。その度に、地域の皆様にお力添えいただいたことを私たちは決して忘れてはおりません。皆様のご恩に報いるために、これからも地域の中でできることを模索し続けてまいります。

診療はもちろんのことですが、医療講演・健康相談・インターンシップなど必要な時にお声を掛けていただきやすい環境を整えております。皆様から必要とされる病院になれるよう職員一同取り組んでまいりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年が更に良い年になるよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第12回 改善活動大会

当院では、毎年12月に改善活動大会を実施しています。

今年のテーマは『**やってみよう**』。

今回は23チームが改善活動に取り組み、当日は発表者を含め153名の職員が参加しました。

活動の内容は、安全性や質を高めるもの、コスト削減に繋がるものや、能率を上げるものなどで、各部署・チームが丸となって行った改善活動を代表者が発表しました。それぞれ工夫を凝らした取り組みとなっており、この一年の職員の挑戦の過程がよくわかるものでした。



院長、看護部長、事務長、副看護部長(医療安全)が審査員を務め、上位入賞チームとユーモア賞が表彰されました。



第1位 総務課 『キャッシュレス、でもハートフル』

キャッシュレス、
でもハートフル

総務課



第2位 検査科・外来

『侷(タスク)に託したタスク・シフト／シェア』



第3位 診療情報・医師事務

『所見、確認、継続やってみよう』

